

坂浜地区

令和3年11月13日 (坂浜コミュニティ防災センター)

No.	質問内容	回答
1	若葉台駅と平尾団地間の夜2時以降の公共交通機関がないため、新たに設置してということではなく、平尾団地から新百合ヶ丘まで運行しているものを10分ほど延ばしていただきたい。	何度も同様の要望をいただいておりますが、地域公共交通会議の場において、バス事業者、鉄道事業者へ伝え、議論がなされてきたが、営利事業でもあることから採算性や人材の確保等の難しさ、特にコロナ禍の現在においてはテレワーク等により通勤客も激減しており、夜間の利用客もほとんどいないことから、実現は難しいとの回答をいただいております。今後も引き続き、地域公共交通会議において要望を伝えていく。
2	平尾浄水場バス停付近にゴミがたくさん落ちていて困っている。	粗大ごみの不法投棄については市に連絡をいただき対処することもできるが、ペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻などの小さなごみについては、全て行政サービスの中で排除することは難しい。是非、自治会、町内会、ご近所の皆さまへは日ごろの清掃活動へのご協力をお願いしたい。
3	稲城市のワクチンの接種状況について	<p>市では、これまで12歳以上の方で希望される方への接種を実施し、10月末時点において、目標とする約8割の方への接種が完了する見込み。当初、国が示す11月中旬までの終了を目標に掲げてまいりましたが、市医師会や市内医療機関など関係者の協力により、予定を前倒して終了を迎えることとなった。今後、希望される方(12歳の誕生日を迎えられる方など)への接種については、個別接種での実施を予定しており、現在調整中。</p> <p>また、3回目の追加接種については、接種時期として2回目接種の完了から概ね8か月以上後と示されており、対象者への接種券の送付や接種体制確保に向けた調整を行っている。</p> <p>【参考】年代別接種率(10/27時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上 91.6% ・60～64歳 87.1% ・50～59歳 82.3% ・40～49歳 78.9% ・30～39歳 69.4% ・20～29歳 65.6% ・12～19歳 62.7% <p>※対象者全員に対して、約78.7%</p>

No.	質問内容	回答
4	第三保育園の跡地の利用について	令和3年4月1日の稲城小田良土地区画整理事業内の新園開設に伴い、第三保育園は令和3年3月31日をもって閉園とし、跡地につきましては、当面は、都市計画道路整備に伴う代替地として使用するために管理をしており、特段の利用計画は無い。
5	ちびっこ広場の簡易トイレについて、浄化槽付き簡易トイレに変更していただきたい。	坂浜中央ちびっこ広場の簡易トイレについては、設置から時間が経過しており、市でも老朽化を認識している。このことから、簡易トイレの更新について予定しているが、ご要望の浄化槽については、将来的に三沢川の整備や鶴川街道の拡幅に併せて、下水道管が敷設される予定があることなどから、現状のトイレの更新とさせていただきたいと考えている。
6	多摩都市計画道路3・4・36号線について、鶴川街道までの開通の見通しについて	土地所有者の皆さま方のご理解、ご協力をいただきながら、合意形成を図り、早期の開通に向けて努めていく。
7	坂浜32-1（荒井坂2）の用水路が、最近降水量が増えたためあふれる状態になっている。改修をお願いしたい。	立地上、ある程度の越水は想定される。全面石張りにすることで、安全は確保されるが、景観の問題からそれを望まない方もいる。財政面からも全面的な改修は難しいと考えている。基本的には自主防衛策として、遮水壁や水門をつくっていただくことで対応いただきたい。長期的には、近年のゲリラ豪雨などの大雨時の状況に十分注視しながら、今後の状況によっては、護岸の嵩上げ等も検討する。

No.	質問内容	回答
8	<p>稲城の田園風景を残していくため、稲城の農家の方々を支援する政策を考えていただきたい。</p>	<p>稲城市では、直接担い手をサポートする「援農ボランティア制度」がある。「援農ボランティア」は、農家を手伝いたいという意欲のある方へ、畑での野菜の栽培を中心とした研修を実施し、その後、実際にボランティアとして農家を手伝ってもらう制度。稲城は畑の栽培を行っている農家は少なく、果樹が多い。いずれは、果樹へも研修を広げていきたい。</p> <p>また、稲作については、栽培する農家が非常に少ないことから援農ボランティアには馴染まず、公共用地の中で保全をしていく方法を模索している。</p> <p>現在、大丸用水近隣で市民の方から寄附いただいた田んぼを、田んぼとして保全するという行政目的のために、稲作を行いたい第三者へ管理をしてもらうことも考えている。</p> <p>また、小田良の区画整理後に公園緑地とし市へ移管になる場所が現在は田んぼになっているため、全てを田んぼとして残すことは難しいが、一部は畑、一部は田んぼ、残りは公園とし、市民参加で維持ができるような仕組みにしたいと考えている。</p>
9	<p>新しくできた第一調理場から定期的に来るご飯が柔らかすぎておいしそうではない。</p>	<p>基本的にはライスセンターから購入している。第一調理場の新設と共に、災害時にも対応できるよう部分的に賄えるだけの炊飯施設を整備した。調理は全自動で行っているため、柔らかすぎるということであれば、水加減を調整する等、指導する。</p>